

配 管 工 事 特 記 仕 様 書

設計番号：設計第 2 2 号

工 事 名：山家地区送水管布設工事

工事場所：三次市山家町 地内

令和 5 年度

広島県水道広域連合企業団 三次事務所

配 管 工 事 特 記 仕 様 書

第1章 総 則

第1条 適用

- (1) 本工事は、三次市が配水管布設を請負工事で施工するものである。配管工事の施工は、広島県土木工事共通仕様書(令和4年8月)(以下「共通仕様書」という。)並びに、日本水道協会発刊の水道工事標準仕様書(2010)(以下「標準仕様書」という。)及び本特記仕様書によるものとする。
- (2) 設計書、図面及びこの特記仕様書に記述された事項は、他の共通仕様書内容に優先する。

第2条 他請負工事との協議調整

第3条 工事中の損傷事故とその復旧

工事施工中には、周辺の物件等に損傷を及ぼさないよう留意するとともに、損傷を与えた場合には、速やかに監督員に報告する。復旧に要する費用の一切は受注者の負担とする。

第2章 配管工事

第4条 使用水圧

設計水圧は、水道標準規格に相当する $P = 0.75 \text{ Mpa}$ とする。

第5条 使用材料

- (1) 本工事に使用する主な配管材料は、日本水道協会または J I S 規格品であること。現場搬入に際しては日本水道協会の検査合格を証明できるものでなければならない。
- (2) 上記規格にないものは、あらかじめ見本及び承認図を提出し、監督員の承認を得なければならない。また、資材の一部には当課の指定する製品が含まれている。

第6条 配管工事の工程

工事の施工は、管の床掘、据え付け接合、埋戻し、舗装復旧までの一連作業を1日の作業時間内で終える計画とする。

第7条 掘削土の処分

別紙,特記仕様書1のとおりとする。

第8条 水圧試験

配管工事完了後、管の充水・洗管を行い、水圧試験を行う。この試験水圧並びに保持時間、試験結果の良否の判定要項は当課において指示する。

特 記 事 項

1. この工事の施工に際して資材の購入またはやむを得ず工事の一部を第三者に請け負わせようとする場合は、極力三次市内に主たる営業所を有する業者に発注するものとする。
2. 暴力団等による工事妨害に対する取扱いについて
 - (1) 第三者から工事妨害の被害を受けた場合は、その旨を直ちに報告するとともに被害届を速やかに警察署へ提出すること。
 - (2) 警察署から被害届受理証明書が交付され、かつ、工程の調整を行ったにもかかわらず工期に遅れが生ずる恐れがある場合は、三次市建設工事執行規則の規定による工期延期願に当該証明書を添付して提出すること。

特 記 仕 様 書 1

1. 当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分場（「広島県土砂の適正処理に関する条例」に係る土砂埋立許可施設）へ搬出するものとし、次の処分先を見込んでいる。

（１）受 入 地 （有） ウエムラ設備東山区内建設発生土受入地

三次市山家町字東山 595-1

（２）運 搬 距 離 2.0 キロメートル

（３）受 入 条 件 月曜日～日曜日 6：00～20：00

第1種～第3種建設発生,含水率 70%以下

（４）受 入 費 用 砂・砂質土・礫質土 2,000 円／m³

（５）提出調書等 提出を義務付ける

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により建設発生土処分場への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議するものとする。

特 記 仕 様 書 2

1. 本工事の交通誘導員 1 5 0 人を見込んでいる。